



医療安全対策委員会 2012年 病院医療安全標語決定！

再確認 多忙な時こそ しっかりと

昨年に引き続き、本年も医療安全の啓蒙活動の一環として、標語を募集しました。多数応募のあった作品から三役による採点の結果、薬剤部の「再確認 多忙な時こそ しっかりと」が選ばされました。

この活動を通して、職員一同、より一層医療安全に対する意識を高めていきたいと考えております。



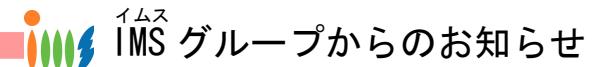
皆様のご意見をお聞かせください

当院では、よりよい病院づくりのために、皆様のご意見を募集しています。ご意見は下記場所、FAX または E-mail で受け付けております。皆様の貴重なご意見をお待ちしております。

FAX 045-823-3850 E-mail sth-soumu@ims.gr.jp

院内ご意見箱設置場所

- 各病棟エレベーターホール
- 1階受付 公衆電話横
- 医療相談室横



医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMS グループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ【メールフォーム】よりお問い合わせください。

FREE 0800-800-1632

※「050」から始まるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMS グループの最新情報をご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

病院理念

医療と介護と人間力で患者さまと向き合います

基本方針

- やさしい言葉と笑顔と真心で、患者さまの安心・安全・権利を守ります
- 地域医療機関との連携で患者さまの思うゴールに全職員でサポートしていきます
- 医療従事者らしい振る舞いと常に工夫で医療の質の向上を心がけます

編集後記

この度、広報誌を編集させていただくこととなりました、総務課小川と申します。皆様に慕ってもらえるような広報誌を目指しますので、よろしくお願いいたします。厳しい残暑もようやく終わり、秋らしい季節になりました。気温の変化が激しく体調を崩しやすい時期でもございます。どうぞご自愛くださいませ。

総務課 小川

院長のつぶやき。



この度、つぶやきのコーナーを頂く事になった。

院長に赴任して約8ヶ月間が過ぎた。

岩のように重くなった体と心を癒す為に日常にメリハリをつける努力をしている。何も考えずにテレビにのめり込む。お気に入りの番組はBS-TBSの「吉田類の酒場放浪記」とBSフジの「プライムニュース」。前者は酒場詩人の吉田類さんによる酒場めぐりで、本気で飲んでいるので最後は呂律も回らず、実に人間味があり、飾らず楽しい！後者は対談式で、優しくも切り込んだ質問をする司会者の腕前にアッパレ！痛快である。その他は、NHKの「世界ふれあい街歩き」、テレビ東京の「ソロモン流」が気に入っている。テレビの前に座る時は、適量のアルコールが必須アイテム。最近お気に入りのグラスも手に入った。中身はウイスキーが多いが、今は○山医師に頂いた芋焼酎。メリハリをつけて明日の英気を養う。

喜びに溢れた毎日感謝。

林 重光



レガーミとはイタリア語で『絆(きずな)』という意味です。このタイトル名には病院と患者様、当院と連携を組んでいる病院との絆がより強くなるようにとの願いがこめられています。

第51回 IMSグループ大運動会開催！



2012年10月7日(日)、荒川戸田橋陸上競技場にて第51回IMSグループ大運動会が行われました。約1ヶ月間の練習の成果と選手個々の気合いが他チームを勝り、見事優勝の栄冠を勝ち取ることができました！！！林院長就任1年目にこのような結果を得ることができ、職員一同、筆舌に尽くし難い喜びを感じています。このチームの団結力を普段の業務に活かし、患者さまの想うゴールへ全職員、全力でサポートしていく所存です。

特集

健康対策～冬季の体調管理と感染症予防対策について～

- 夏祭り
- ふれあいコンサート
- 医師紹介
- 外来ご案内
- 病棟だより
- 家族講習会
- ホームページリニューアル
- 褥瘡対策勉強会開催
- リハビリテーション科合同就職説明会
- 学会実績
- 事務長よりご挨拶
- 医療安全委員会 標語決定
- 院長のつぶやき
- 皆様のご意見をお聞かせください
- IMS グループからのお知らせ
- 病院理念・基本方針・編集後記

特集 健康対策～冬季の体調管理と感染症予防対策について～

冬は寒く、乾燥する季節です。みなさまが健康に過ごされるためにはどんなことに注意すればいいのか？
院内感染防止対策委員会・委員長の秋山先生にポイントを教えてもらいました。

冬季はいろいろな要因で体調を崩します

気温の低下から、動くことが億劫となり、体を動かす機会が減ってしまいます。体を動かさないでいることにより、体が硬くなり、また全身の血行が悪くなり、血圧の変動なども生じます。全身の血行不良や急激な血圧上昇は脳卒中や心臓疾患の発症要因でもあります。寒い時期も少しづつ体を動かすよう心掛けてください。具体的には、起床後に少しづつ体を動かし、屋内で体を温めてから、短時間で良いので、屋外で散歩しましょう。

また、寒い時期はのどが渇く感覚が低下するため、水分摂取を怠ってしまいます。「すぐトイレに行きたくなるので、水分は摂りたくない」とおっしゃる方がいますが、のどは乾かなくても、冬季は乾燥しているため、脱水症状になることがあります。一度に飲む必要はありませんので、一口ずつ、口の中を温らすつもりで水分を摂ってください。

インフルエンザと感染性胃腸炎に注意

冬の時期と健康を考えるうえで忘れてはいけないのは、感染症です。特にインフルエンザと感染性胃腸炎には注意が必要です。インフルエンザはくしゃみや咳によって感染すると言われていますが、実際には手を介して感染することが多いようです。「外から帰ったら手を洗ってうがいをしなさい」昔からよく聞く月並みなことですが、非常に大切なことです。電車のつり革に掴まっていた手にはウイルスがついているかもしれません。まず石鹼で手をしっかりと洗いましょう。次にうがいです。いきなりガラガラうがいをせず、最初にぶくぶくうがいをして、口の中をきれいにしてからガラガラしましょう。感染性胃腸炎は発熱と共に吐いたり、下痢をします。吐いた物や便の中にはウイルスや細菌がいますので、出来るだけ触れないようにし、もし触れてしまった時はしっかりと手を洗ってください。前にも述べましたが、手にはウイルスや細菌がたくさんいます。手でやたらと口や鼻を触らないように、普段から良い習慣をつけてください。

規則正しい生活をして、睡眠をしっかりととる。一日三度の食事を欠かさず、水分を補給する。適度に体を動かし、散歩する。これら普通のことが健康の基本です。是非心がけていただきたいと思います。



手洗い・うがいはきちんとしましょう。

なつまつり ふれあいコンサート

8月31日(金)、病院正面駐車場にて夏祭りを開催しました。

患者さまとご家族、地域にお住まいの方総勢約500名の方々に来て頂き、盛大に行われました。催し物は、焼きそば、フランクフルト、かき氷、ゲームと例年ものに今年は綿あめが加わり、多くの方々に喜んで頂けました。昨年とは違い好天にも恵まれ、蝉の声が降りそそぐ晩夏に「真夏」を感じて頂けたと思います。来年は更に多くの方々のご参加をお待ちしています。

褥瘡対策勉強会開催



9月21日(金)、院内にて体位交換枕の勉強会が行われました。新たに体位交換枕を導入する関係で、看護師、リハビリスタッフ向けに、メーカーより製品の特長、ポジショニングについての説明を受けました。



体位交換枕も形は様々、使い方ひとつで褥瘡の治癒速度に影響が出ます。当院では、患者さまに最良のケアを提供するため、一人ひとりの職員が知識を統一できるよう、頻繁に勉強会を行っています。尚、新しい体位交換枕は、10月中旬以降の導入を予定しています。

体位交換枕勉強会

学会実績(5月～9月)

学会の発表実績をご報告いたします。今後もさまざまな学会を通じてスタッフ一同、医療の質の向上を心掛けます。

看護部

9月21日 全日本病院学会

宍戸正恵 芝 美紀

9月26日～28日 老年看護学会

上村成美 篠島永里

9月29日・30日 固定チームナーシング全国研修集会

リハビリテーション科

5月19日・20日 第24回活動分析研究大会

作業療法士 吉武信治(発表者)
5月19日

第25回 PTOTST 研究会

理学療法士 内川智博 米崎厚志

作業療法士 上條早也香 谷口朋見

言語聴覚士 宮田 彩

6月15日・16日 第13回日本言語聴覚学会

言語聴覚士 宮地留里佳

6月15日～17日 日本作業療法学会

作業療法士 平野友梨(発表者)

リハビリテーション科合同就職説明会

8月17日(金)に品川区大井町きゅりあんにて「IMS グループリハビリテーション科・合同就職説明会」が開催されました。当日は200名を超える学生が参加しました。当院は「和気あいあいとした職場であること」「専門性を高める教育体制を強化していること」を中心にアピールしました。

その甲斐もあり、多くの方に興味をもっていただき、38名もの学生が当院に見学に来てくれました。リハビリテーションに力を入れている当院としてはとても嬉しいことです。来年度、一緒に働くことが楽しみです！



事務長よりご挨拶



初めまして、今年6月に着任しました事務長の茂木(もてき)と申します。これまでグループ内の施設で勤務しておりました。横浜地区での勤務は初めてですが、親戚が市内にいることもあります。幼いころはよく訪れていた土地ですので懐かしさを感じております。

新戸塚病院は、療養を対象とする患者さまや、リハビリテーションを必要とする患者さまに医療サービスを提供している病院です。患者さまにとって何が必要で、何ができるかを常に考えながらスタッフは日々患者さま一人一人に向き合いながら業務に励んでいます。事務長としてスタッフが働きやすい環境を整えて、より良いサービスを患者さまに提供できるように試行錯誤している毎日です。

来年は、新戸塚病院が開設してから35周年となる節目の年です。地域の皆様に必要とされる病院としてさらに発展し続けたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

事務長 茂木孝紀

病棟だより

特殊疾患病棟には、人工呼吸器の患者さまがご入院されています。看護師は身体状況の観察・呼吸管理を行っていますが、人工呼吸器装着中でも、外の空気を感じていただければと思い、スタッフが協力して呼吸器ごと移動を行いました。病室から少し離れたところまで車椅子でお連れしたところ、食堂の大きな窓から心地よい風も入り、患者さまはとても気持ちよさそうでした。今後はご家族さまの面会時にもお散歩ができますとおもいます。



患者さま、ご家族さまのご了解のもと掲載しています。

家族講習会 インフォメーション

毎月第3土曜日 14時30分～15時30分、A館1階外来待合室にて開催しております。内容は月替わりで「社会資源（介護保険について等）」「移動・移乗」「排泄の援助」「食事について（食事の時の姿勢や食事形態等）」を行っています。

当院でリハビリを行われ、ご自宅に帰られてからの不安が少しでも軽減できるよう、スタッフ一同『何かサポート出来れば』という思いで行っております。お気軽にお立ち寄りください。

7月～9月の家族講習会では下記の内容で開催いたしました。

7月 高次脳機能障害

高次脳機能障害といっても具体的な内容や対応の仕方など、分からぬ方が多いと思います。そのため、リハビリスタッフから高次脳機能障害になる原因や種類、生活上どのような点で困るかなどを説明させていただきました。また、退院後も自宅で出来るリハビリや対応の仕方を紹介しました。

今後の予定

- 11月17日 介護保険について
- 12月 移動・移乗
- 詳しい日程・内容等については、院内掲示板をご覧ください

9月 排泄の援助

看護師からは、便秘の起る原因や、下痢になった時の対処法・高齢者に多くみられる排尿の問題点を紹介しました。

リハビリスタッフからは、トイレに行くための必要な動作についてや、退院後の自宅のトイレ改修や排泄に関する福祉器具の紹介をしました。

8月 介護保険

「介護保険」という名前は知っていても、実際に介護保険サービスを利用して生活を送るとなると戸惑われる方は多いと思います。そこで今回の講習では、介護認定からご利用までの流れと介護保険で使えるサービスの種類について事例を挙げ、なるべく身近に感じていただけるように説明させていただきました。介護保険の説明に加えて、当院の通所リハビリテーション（デイケア）や当院併設の介護居宅支援事業所のご紹介もしました。



ホームページリニューアルしました

10月中旬、ホームページをリニューアルしました。最新情報を紹介するブログをはじめ、みなさまにより当院を知ってもらえるような内容となりました。

ぜひ一度アクセスしてください！！！

<http://www.ims.gr.jp/shintotsuka/>

看護部サイトもリニューアルしました！



医師紹介

今回のレガーミから新コーナー「医師紹介」が始まりました。
第1回目は神経内科統括部長、秋山先生です。

神経内科医の秋山です。2010年4月から新戸塚病院に勤務しております。それまでは、急性期病院（救急病院）で脳卒中および神経内科疾患の救急と外来診療を行っておりました。「3時間待って、診療時間が3分」いわゆる3分間診療という言葉がありますが、まさにそんな診療を行っておりました。外来では1日100人以上の患者さまがいらしたため、仕方ない事かもしれません。しかし、自分の中では何かが違うと思いながらも、患者さまから感謝されるこども多々あり、我慢して続けていました。しかし、どうしても自分自身を許すことが出来なくなり、大学病院を退職しました。

好きな言葉は「真実」です。真実は時として、人を不幸にすることがあるかもしれません、自分の気持ちに素直でありたいと思っております。出来るだけ患者さまの近くにいられる、自分の気持ちに素直に診療ができる病院で働きたいと考え、新戸塚病院に赴任しました。ただし、単にやさしいだけでは患者さまの為にならないことがあるので、医療従事者として、ときに厳しくすることも重要であると考えております。

自分で感銘を受けた言葉があります。マルティン・ルターの言葉で、「たとえ明日世界が滅びようとも、今日、君はリンゴの木を植える」というものがあります。私は常にこの言葉を心に刻んでいます。人間である限り限界はあり、全くミスのない行動は不可能だと思います。従って、常に自分が最大限出来ることだけを考えて行動しています。この世に生かされる者として、「世の中の為の一人として自分がいる」と考えております。

今後も自分の気持ちに素直に向き合い、患者さまの為、世の中の為、一緒に仕事をしている仲間の為に、自分の仕事をしていきたいと思います。

秋山医師プロフィール



神経内科統括部長
あきやま かつのり
秋山 克徳

【略歴】

東海大学医学部卒
University of Ottawa (オタワ大学：カナダ) 神経学科研究所留学
平塚市民病院 神経内科 医長
東海大学付属大磯病院 神経内科 講師・医長
新戸塚病院 神経内科・回復期リハビリテーション病棟担当

【資格】

医学博士
日本神経学会専門医
日本脳卒中学会、評議員、専門医
日本脳循環代謝学会、評議員
日本頭痛学会、評議員、専門医
日本内科学会認定内科医
日本感染症学会、インフェクションコントロールドクター認定

外来ご案内

診療科目 (総合・一般) 内科・神経内科

診療日 月～金

受付時間 午前8:00～12:30

診療時間 午前9:00～13:00 (当院の外来は、午前のみとなります。)

休診 土・日・祝祭日・年末年始

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
総合内科	今井	院長	伊藤	院長	今井	—
神経内科	—	—	和田(※)	—	—	—

次のような症状があらわれたら神経疾患の可能性があります。

- ・手足に力がはいらない
- ・手足がしびれる
- ・しゃべりにくい
- ・飲み込みにくい
- ・手が震える
- ・頭が痛い
- ・目が回る
- ・ふらつき
- ・など

これらの症状だけでは何の病気かわかりません。ご心配な方は、まずは総合内科の受診をおすすめします。

※当院神経内科は予約制となっております。